

2019年9月20日

## 「Things Partner™プログラム」の対象に eSIM を拡充

～IoTプラットフォームに加え、モバイル通信サービスの拡充による対象パートナーの拡張～

NTT コミュニケーションズ(以下 NTT Com)は、お客さまのデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するパートナーを募る「Things Partner™プログラム」(以下 本プログラム)を2019年4月1日に開始しました。このたび、さらに多くのパートナーに参加いただくべく、eSIM 技術を活用した「IoT Connect Mobile™」※1をはじめとする各種モバイル通信サービス※2についても、2019年9月20日より本プログラムの対象サービスに追加します。

なお、「Things Cloud®」※3は、「Smart Data Platform」※4を構成するIoTデバイス管理機能です。

### 1. 概要

これまで本プログラムでは、IoTプラットフォーム「Things Cloud®」と連携するIoT-GWやセンサーデバイスなどを提供する企業と、パートナーリングを進めてきました(別紙1)。このたび「IoT Connect Mobile™」を含むNTT Comの各種モバイル通信サービスの対応を開始します。

特に、eSIMによる遠隔からのプロファイル書き換えが可能となる「IoT Connect Mobile™」が対象サービスとして拡充されることにより、日本を含むグローバルな環境で、パートナー自身でお持ちのIoTデバイスを用いた技術検証環境が整います。これを通じてIoT技術の活用例のさらなる拡大に貢献します。

また、本プログラムは、ドイツのSoftware AG社が提供する「Device Certification Program」※5と連携していくことで、日本および海外のパートナーにおける技術検証等を容易にし、エコシステムを拡大していきます。

### 2. 対応開始日

2019年9月20日

### 3. 申込方法

下記サイトをご参照ください。

<https://developer.ntt.com/iot/docs/tpp/about>

### 4. これまでの参画パートナーとの取り組み事例

NTT Comは、本プログラムに参画いただいている「Things Partner™」の皆さまと共同で数多くの活用事例を創出しています。その中でも、実ビジネスへ至った取り組みとして、オフィス/ビルの会議室の空き状況の見える化ソリューション「Akidoko?™/Akidoko?™ for Room」(別紙2)、トイレの空き状況可視化ソリューション「TIoT™」(別紙3)、さらにフィールドワーカーのための熱中症対策ソリューション「Condition Viewer for Worker Care」(別紙4)などがあります。

## 5. 今後の展開

今回、新たに対応を開始する各種モバイル通信サービスやプログラムの連携により、パートナーとのより一層の共創に取り組み、さらに多くの実現例を作ります。これにより、IoT 導入を検討しているお客さまが直面する、デバイスの選定からデータの蓄積・活用に関わるさまざまな課題を解決することを目指します。

※1：「IoT Connect Mobile™」とは、2019年4月15日に提供を開始した NTT Com の IoT 向けモバイルサービスです。日本の MVNO として初めて eSIM による遠隔からのプロファイル書き換え技術を商用化したもので、日本を含むグローバル環境で IoT 機器を利用する際に、常に最適なスペックや料金で利用することが可能になります。

<https://www.ntt.com/business/lp/mobile/iotconnect.html>

※2：「IoT Connect Mobile™」のほかに、「[Arcstar Universal One モバイルグローバルM2M](#)」、「[OCN モバイル ONE for Business](#)」、「[Arcstar Universal One モバイル](#)」も対象サービスです。

※3：「Things Cloud®」とは、NTT Com が提供している IoT プラットフォームの名称です。デバイス接続からデータ収集、可視化、分析、管理など IoT の導入に必要な機能・プロセスを、ノンプログラミングで簡単・短期間に実現できる機能やテンプレートを提供します。

<https://www.ntt.com/business/services/iot/iot/iot/things-cloud.html>

※4：「Smart Data Platform」とは、NTT Com が提供するデータ利活用に必要なすべての機能をワンストップで利用可能なプラットフォームです。詳しくは、下記 Web サイトをご参照ください。



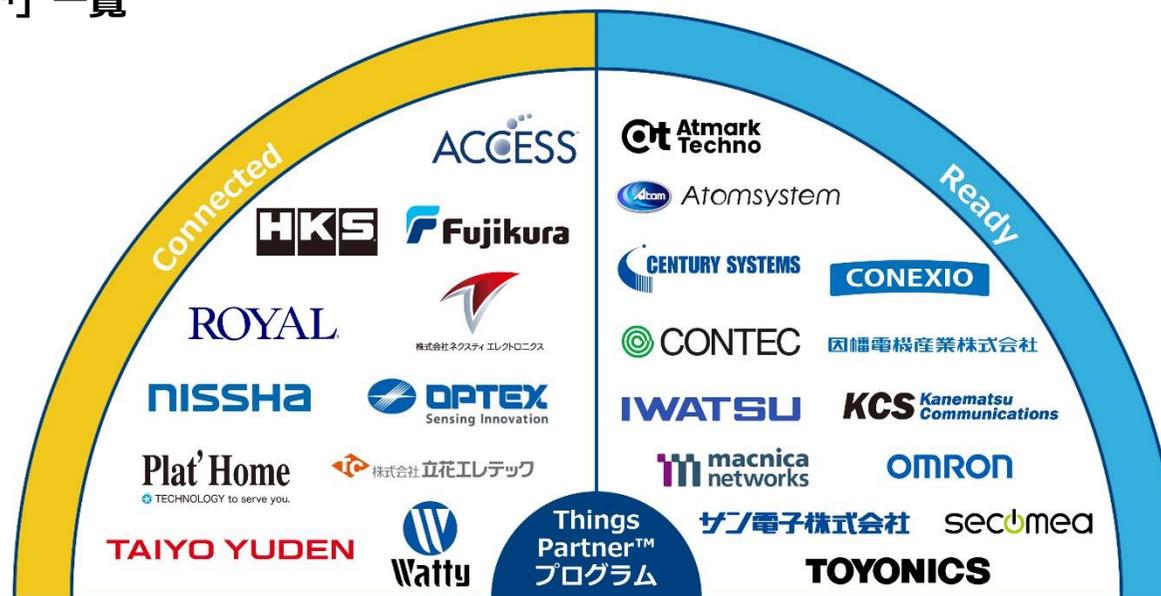
<https://www.ntt.com/business/sdpf/>

※5：「Device Certification Program」とは、IoT デバイスベンダーが、IoT のデバイスエコシステムパートナーとして参加する、Software AG 社のプログラムです。

<https://devicepartnerportal.softwareag.com/dcp-publicweb/#/>

# (別紙1) 「Things Partner™プログラム」

## 主な「Things Partner™」一覧



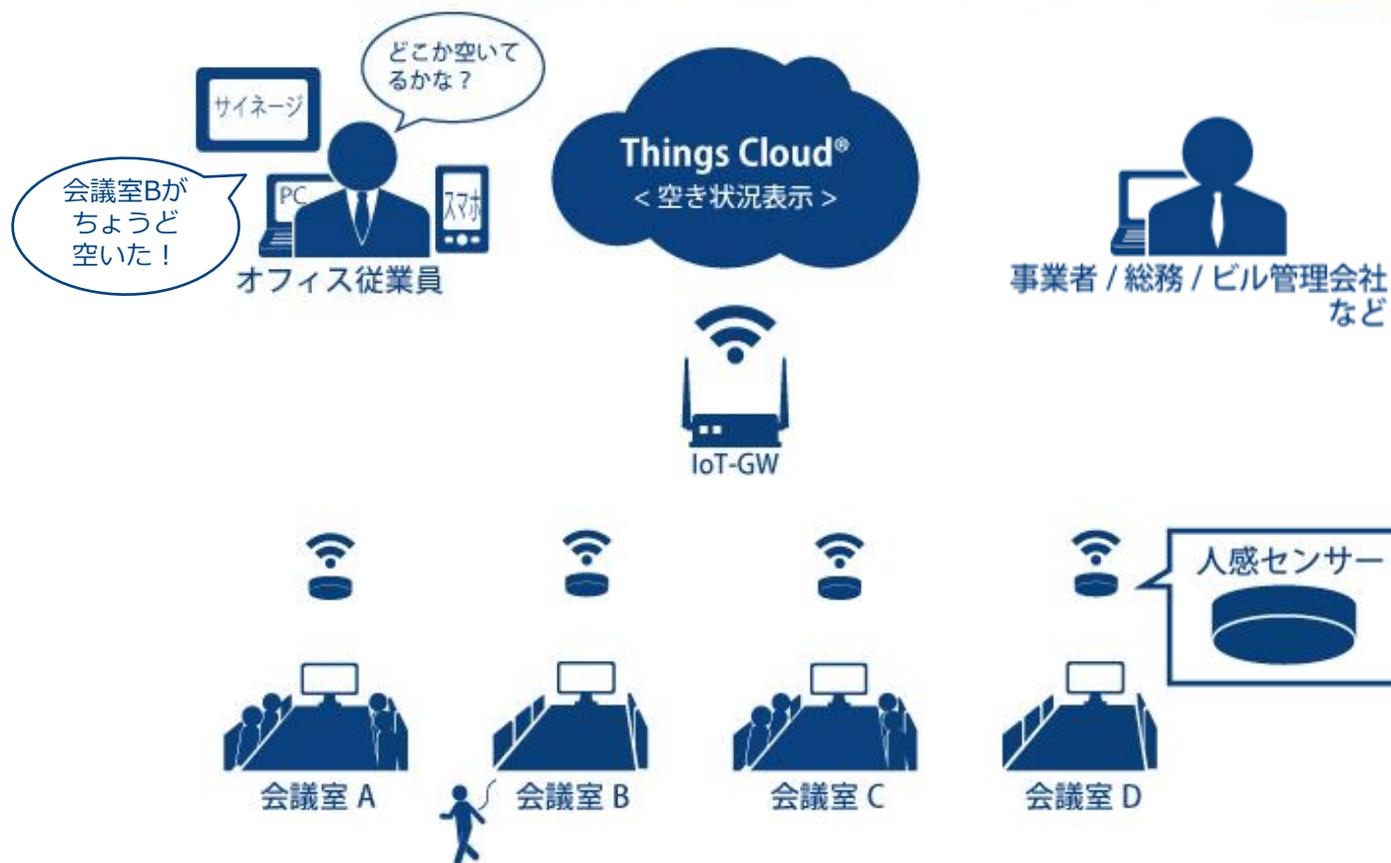
※2019年9月20日時点

## Connected/Readyグレード

項目	Connected	Ready
対象	NTT ComのIoTサービスとIoTデバイスを接続し、新たなユースケースの共創を目指す企業	NTT ComのIoTサービスへ対応したIoTデバイスをお持ちの企業
NTT Com 提供内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT Comプロモーション活動での露出 (デバイス/ユースケースのWeb掲載、イベントなどでの展示)</li> <li>パートナーのプロモーション活動への協力 (業界イベントへの共同出展など)</li> <li>パートナー向けイベントなどへの参加 (NTT Com営業部をはじめとする他部署との交流など)</li> <li>継続的なIoTデバイス開発サポート (開発環境向けに特別価格でのThings Cloud®提供、継続的なFAQ対応、開発情報の先行提供など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT Comプロモーション活動での露出 (デバイス適合表のWeb掲載など)</li> <li>IoTデバイス開発サポートなど (テスト用SIMなどの貸し出し、eSIM/Things Cloud®検証環境の提供)</li> </ul>
パートナー 提供内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年以内のデバイス開発</li> <li>1年以内にユースケース創出</li> <li>継続的なサービス対応(バージョンアップなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年以内のデバイス開発</li> </ul>

会議室の利用状況を遠隔から確認することができ、設備管理者は会議室の利用実績の把握や効率的な設備運営が可能です。

## 会議室利用状況の可視化 + 自動予約取消し



本ソリューションにおける主な「Things Partner™」：オペテックス、ぷらっとホーム

トイレの利用状況を遠隔から確認することができ、設備管理者は早期の急病人救護などの安全対策への活用が可能です。

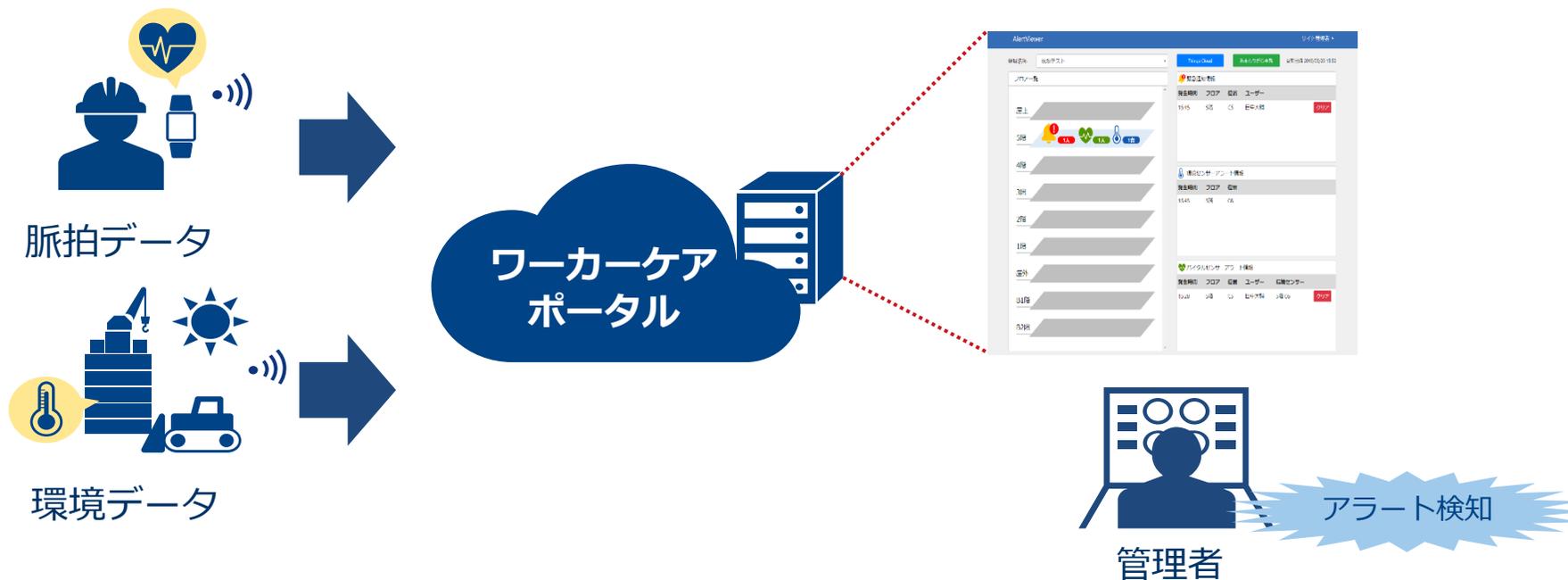
### トイレの利用状況の可視化 + 長時間利用のお知らせ



本ソリューションにおける主な「Things Partner™」：ぷらっとホーム

熱中症など、過酷な環境下における体調不良者の早期発見が可能です。

### 脈拍データ+環境センサーでの環境データ(温湿度、CO2濃度、ガスなど)の取得+アラート検知



本ソリューションにおける主な「Things Partner™」：NISSHA、ぷらっとホーム